

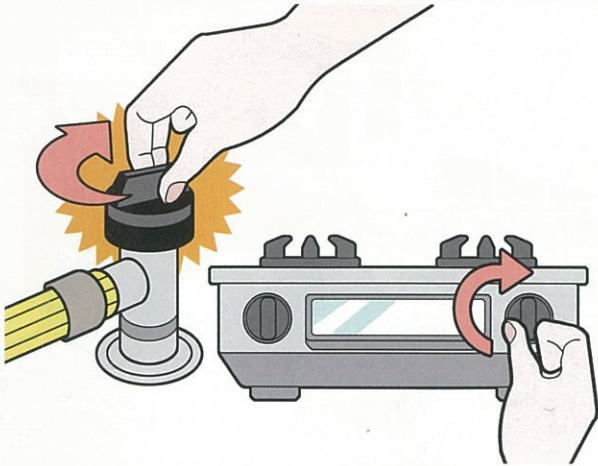
自分の身を守る

自分の家を守る

被害の大きさを
見極め近隣を守る

地域を守り自分が
守られる

3. 使っていた火気器具の元栓を全て止めてブレーカーを落とす



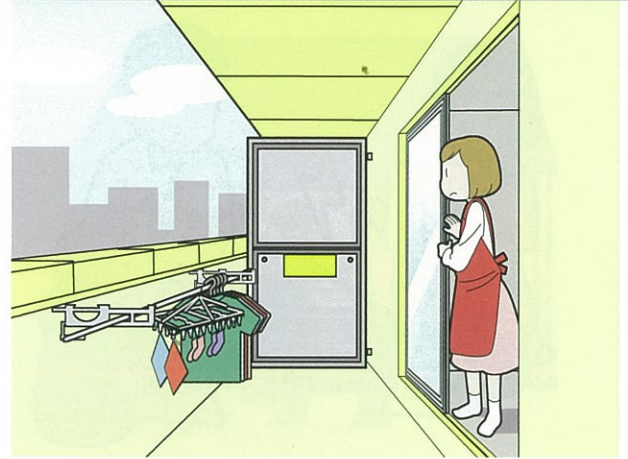
火は消えていても元栓を止めます。



ブレーカーを落とします。

地震の後は停電すると予想されますが、配線やコンセントに亀裂が入ったり、水槽のヒーターなどで復旧して通電した時に出火の原因になります。そこで、スイッチを切るだけでなく、ブレーカーを落とし全ての電源の安全確認をします。

4. 出口を確保して「無事です」カードを貼り出す



ただし、火災の延焼危険がある時はベランダの窓は閉めます。



マグネットでつかない扉もあるので、両面テープなどで貼ってください。

地震でドアがゆがむと開かなくなり、部屋に閉じ込められてしまうので、すぐに出口を確保します。また、隣近所でお互いに無事であることを知らせるために、「無事です」カードを貼ることを決めているマンションや地域もあります。